

学内グラント 報告書

平成22-23年度 学内グラント終了後報告書

着床不全に対する新規治療法の開発とその臨床応用

研究代表者 梶原 健 (大学病院 産科婦人科)

研究分担者 板倉 敦夫*

研究成果リスト

論文発表

- 1) Kajihara T, Brosens JJ, Ishihara O. The role of FOXO1 in the decidual transformation of the endometrium and early pregnancy. Med Mol Morphol (in press).

学会発表

- 1) 梶原健, 栃木秀乃, 板倉敦夫, 石原理. ヘパリンは子宮内膜間質細胞の脱落膜化を促進する, 第64回日本産科婦人科学会総会・学術集会, 2012年8月, 神戸
- 2) 梶原健, 栃木秀乃, 岡垣竜吾, 板倉敦夫, 石原理. アンドロゲンにより子宮内膜間質細胞の脱落膜化変化は形態的・機能的に促進される, 第30回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2012年8月, 大阪

- 3) 梶原健, 藤田恵子, Japarath Prechapanich, 内野聡美, 田中嘉代子, 松本幸子, 穂田真澄, 永島雅文, 石原理. フィブリンゲル3次元培養システムを用いた子宮内膜症 *in vitro* モデルの確立とその応用, 第44回日本臨床分子形態学会総会・学術集会, 2012年9月, 高知
- 4) 梶原健, 内野聡美, 石原理. フィブリンゲル3次元培養システムを用いた子宮内膜症 *in vitro* モデルの確立とその超微形態学的研究, 第57回日本生殖医学会・学術講演会, 2012年11月, 長崎
- 5) 梶原健. Forkhead 転写因子を中心としたヒト子宮内膜脱落膜化機構の解析, 第44回日本臨床分子形態学会奨励賞受賞講演, 2012年9月, 高知

受賞

梶原健

第44回日本臨床分子形態学会奨励賞

*大学病院 産科婦人科